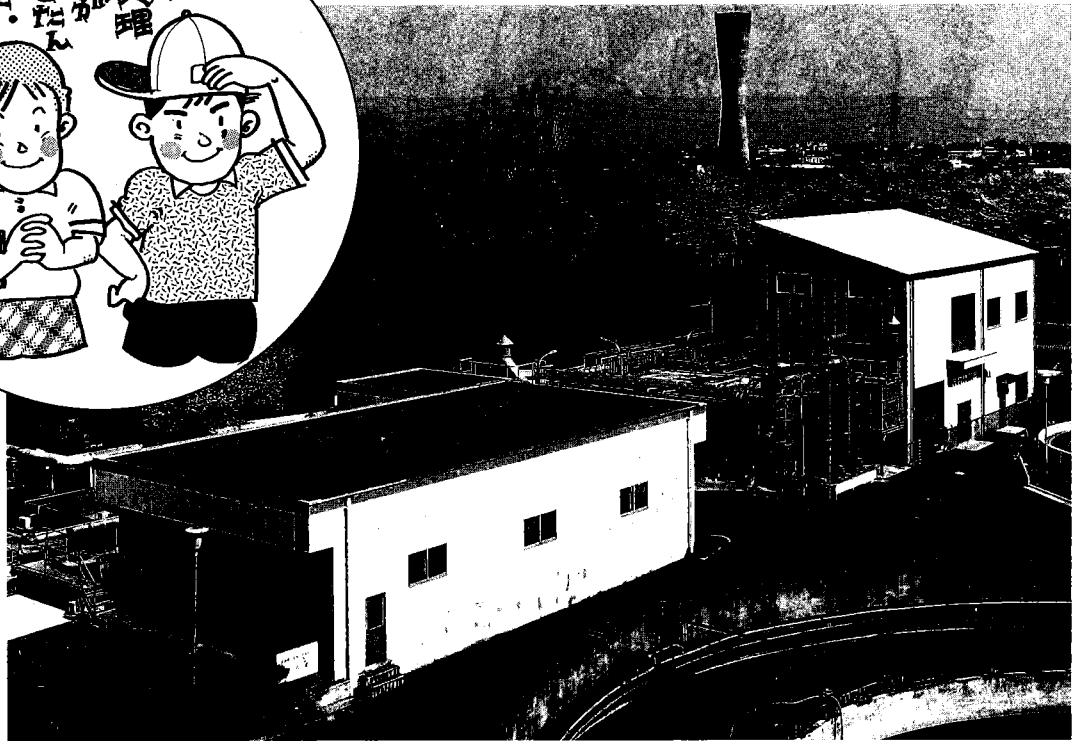


柳泉園NEWS

りゅうせんえんニュース

1996.11.1/AUTUMN VOL

25



し尿処理施設について

柳泉園組合管理者 稲葉三千男

美しい自然を守り、快適な住みよい生活環境をつくることは、私達みんなの切なる願いであり、特に、し尿処理行政は、住民生活に一日たりとも欠くことのできない重要な分野であります。

本組合においても、昭和39～40年度に日量200klのし尿処理施設を建設し、以来高度成長に伴う都市化現象のもと、昭和43～44年度に日量100klの増設、更に昭和45年清瀬市（当時「清瀬町」）の加入に伴い、昭和45～46年度に日量100klの増設を行ない、需要に対処してまいりました。

その後、関係四市の公共下水道普及に伴い、し尿の処理量が最盛期の10分の1以下となり、既存の施設では適切なし尿処理が困難となりました。

このため、平成7年度の事業として、減少したし尿を適切に処理する技術に対応できる施設として、日量35klの前処理・脱水方式のし尿処理施設に更新

いたしました。

本施設は、臭気、水質、騒音等の公害対策には万全の処置を講じると共に、地域周辺の環境の美化保全に気を配り、今後さらに減少していくし尿の搬入量に対応するため、公共下水道へ直接放流する方式として、下水道の排除基準を遵守する処理を行う施設といたしました。

今後、この施設の管理運営にあたりましては、施設の機能を十分発揮させ、地域の皆様のご要望にこたえと共に、快適な環境保全に最善の努力を傾注してまいりたいと存じます。

本施設の建設にあたり、格別なるご理解とご協力をいただきました地元の皆様をはじめ、関係各位に対し心から感謝申し上げます。

今後とも、柳泉園組合の業務に対して、皆様方より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

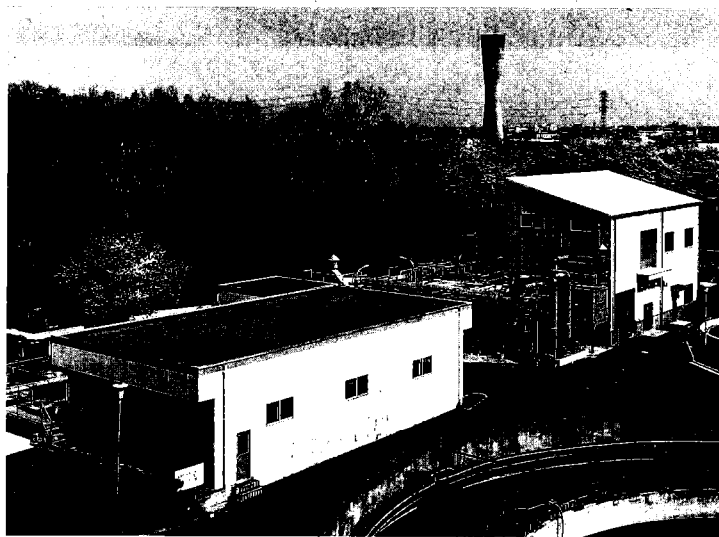
新設のし尿処理施設を紹介します

公共下水道の普及にともなってし尿の処理量は少なくなっていますが、新時代にふさわしい処理システムの整備が必要となってきました。そこで、柳泉園において平成7年度から新しいし尿処理施設を建設してきましたが、このほど完成し稼働を開始しました。そこで、新しいし尿処理施設を紹介します。

〈その特長は以下のとおりです〉

- 新しい処理システムを装備しています。
- 臭気・水質・騒音などの対策に万全を期しています。
- 地域周辺の環境の美化保全に配慮しています。

平成8年3月に完成した新しいし尿処理施設です



(年金積立金還元融資施設)

■施設の概要

- ・建築面積——426.86㎡
- ・延床面積——529.34㎡
- ・着工——平成7年6月
- ・竣工——平成8年3月
- ・処理方式——前処理・脱水方式
- ・処理能力——35kl/日

新しい処理システムの概要

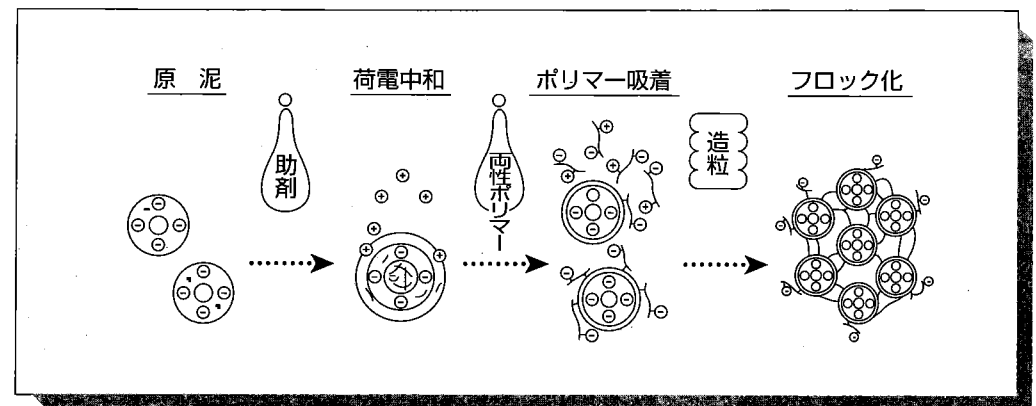
し尿処理に関しては、新しい技術が次々と開発されています。本施設でもそうした新技術を積極的に採用。大きな特長となっているのは、直脱方式によってし尿・浄化槽汚泥を直接的に造粒・濃縮・脱水する点です。これによって、汚泥中のリンの除去や防臭などを効率的に行なうことができます。



■造粒・濃縮・脱水設備の効果

- 合併浄化槽汚泥の流入に対応して、油分除去を図ります。
- 脱水汚泥の含水率の低下が図れます。
- 汚泥中のリンを効率よく除去できます。
- 造粒と濃縮の同時進行で高効率脱水が図れます。
- 脱水が困難な浄化槽汚泥を安定的に脱水できます。
- 密閉型造粒濃縮脱水なので防臭に優れています。

造粒濃縮機構



各工程の作業状況をご案内します

RYUSENEN
NEWS

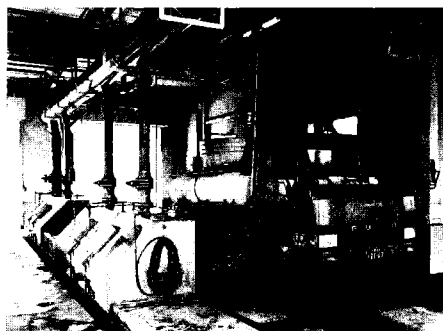
し尿処理施設は、受入・前処理工程、造粒・濃縮・脱水工程、臭気処理工程の各工程に分かれています。その作業の進め方をここで細かく説明します。



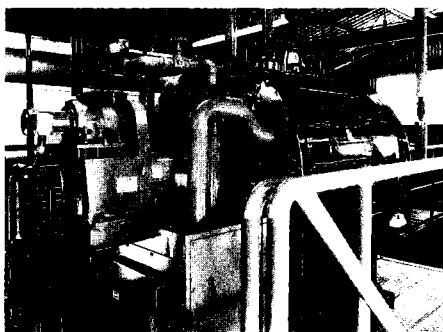
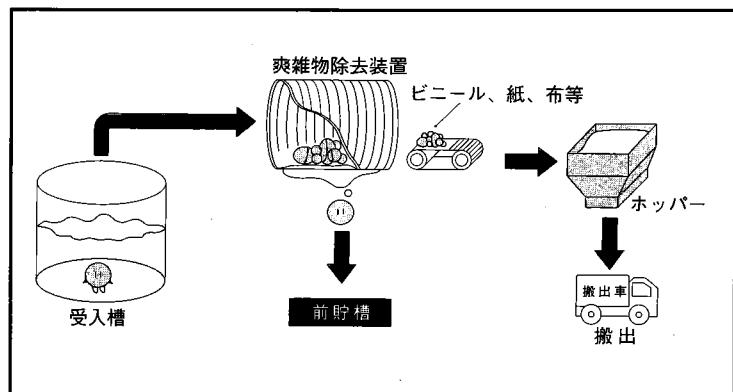
受入・前処理工程

混入物を種類に応じて除去していきます

くみ取りし尿や浄化槽汚泥には、砂れき・繊維類・プラスチック・木片などが混入しています。まず、沈砂槽で砂れき類を沈澱させ、次に破碎装置で夾雑物を破碎し、続いて細目スクリーンでビニール・繊維類を除去します。このように混入物を順に除去したのち、残りを前貯槽に貯留します。一方、スクリーンによって除去されたビニール・繊維類は、脱水したあとにホッパーに貯留し、のちにトラックによって搬出されます。



●受入室

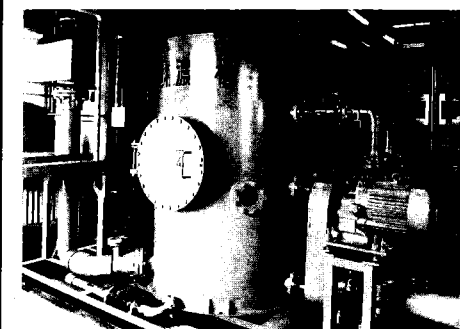
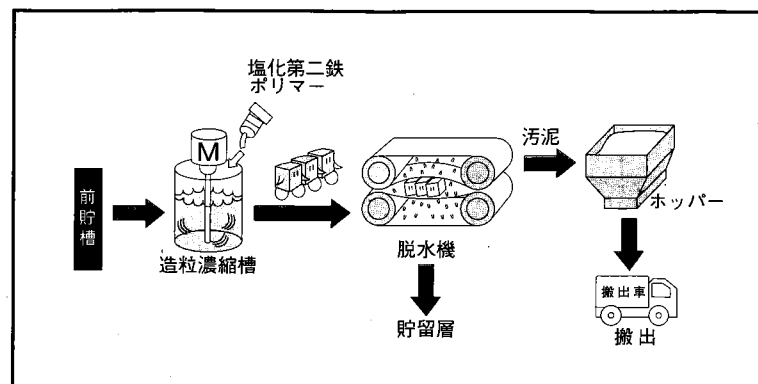


●夾雑物除去装置

造粒・濃縮・脱水工程

新しい技術の採用でスムーズに処理が行なわれます

受入・前処理工程で前貯槽に貯留されたし尿・浄化槽汚泥は、造粒・濃縮工程を経て脱水機にかけて脱水されます。その処理液は貯留槽に送られ、脱水ケーキはホッパーに貯留されたあとにトラックによって搬出されていきます。

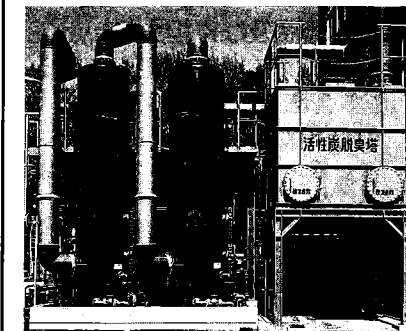
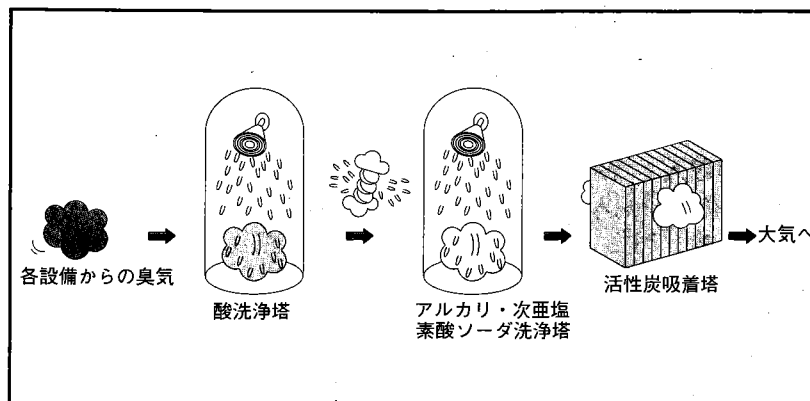


●造粒濃縮設備

臭気処理工程

濃度に応じて速やかに臭気を処理します

し尿、浄化槽汚泥の受入槽、貯留槽などから発生する高・中濃度臭気は、酸洗浄、アルカリ・次亜塩素酸ソーダ洗浄、活性炭吸着などを通して臭気が除去されていきます。また、低濃度臭気は、活性炭によって処理されます。

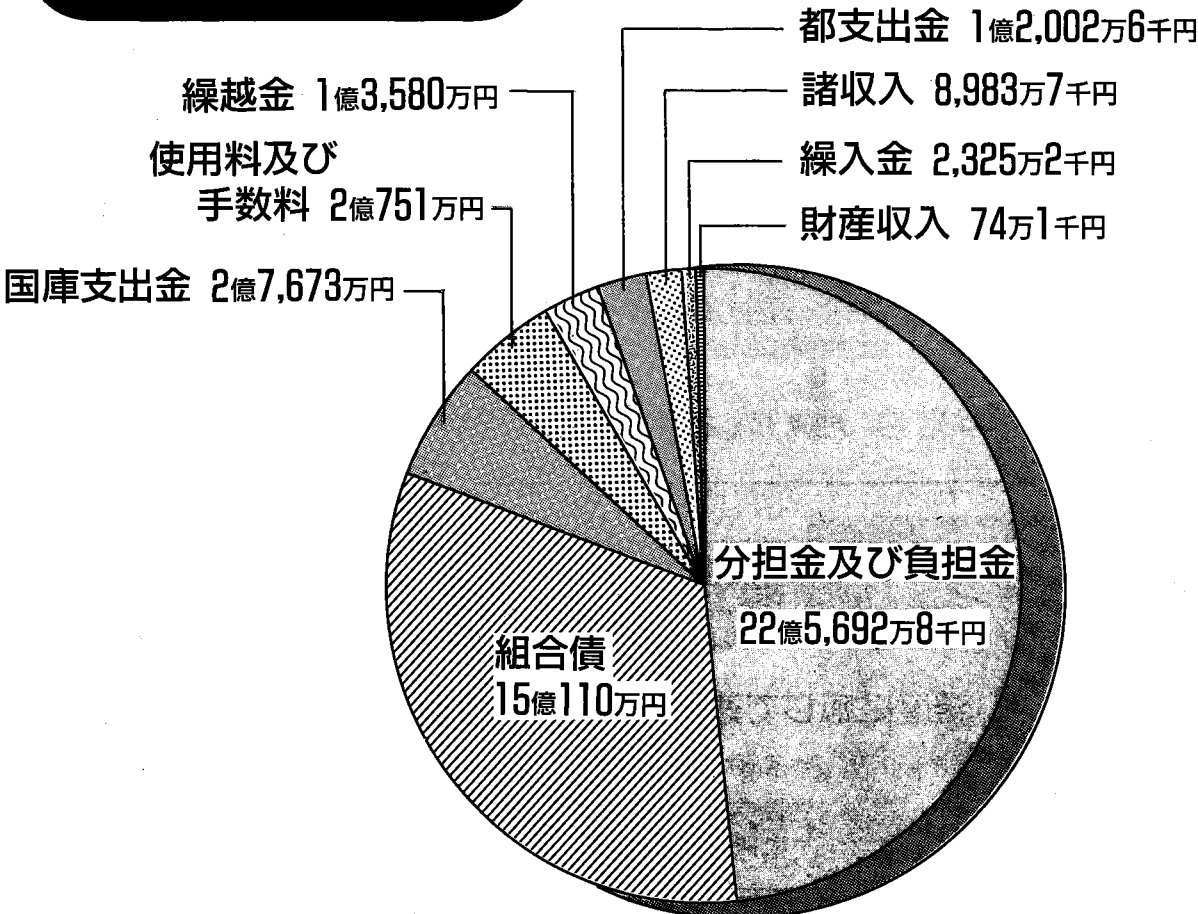


●酸洗浄塔、アルカリ・次亜塩素酸ソーダ洗浄塔

平成8年度の予算について

予算総額 **46億1,192万4千円**

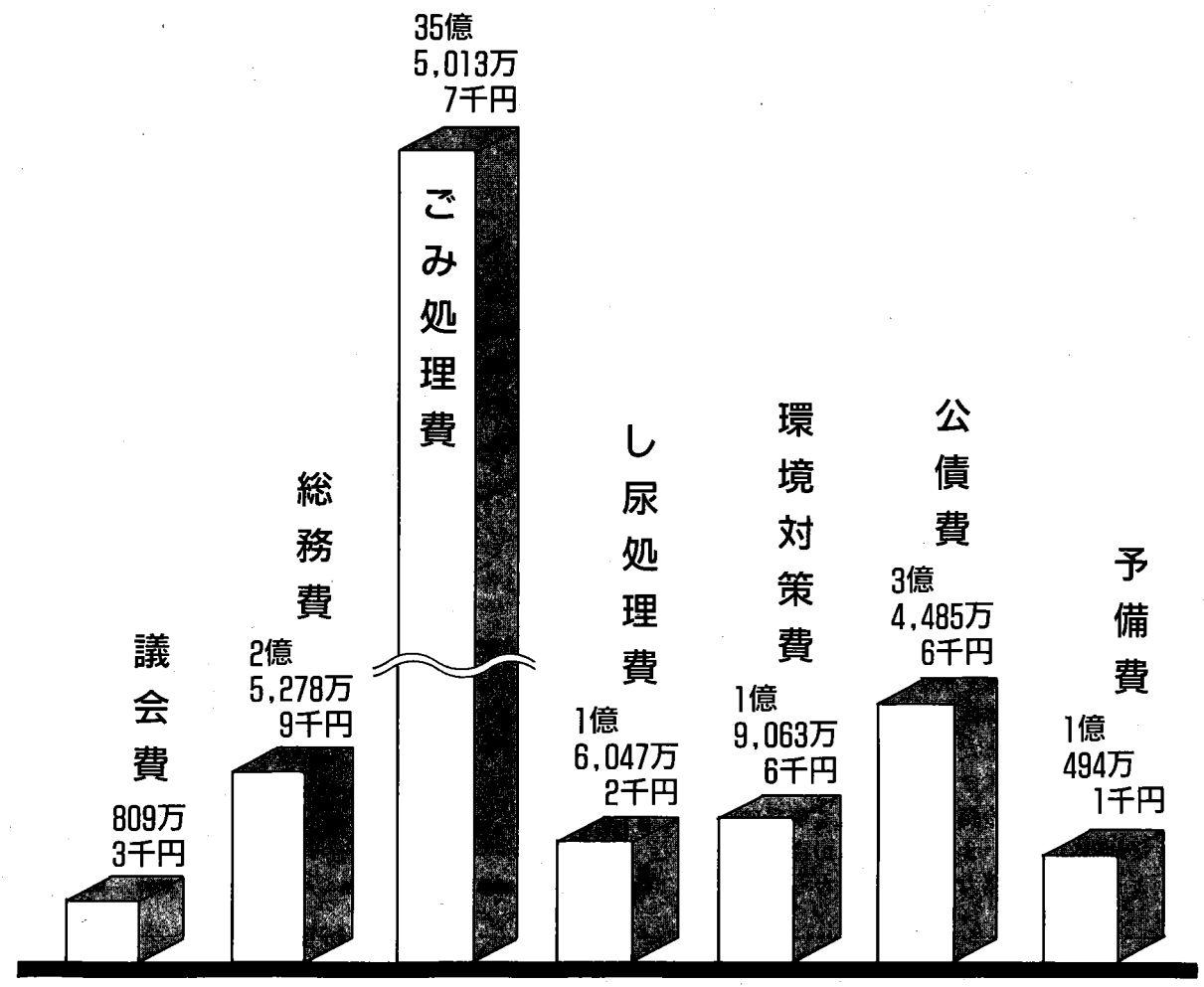
歳入予算



- ①分担金及び負担金
柳泉園組合を構成する四市の負担金、22億5,692万8千円。
- ②使用料及び手数料
体育施設の使用料及びごみ処理手数料等、2億751万円。
- ③国庫支出金
ごみ処理施設建設工事に対する国の補助金、2億7,673万円。
- ④都支出金
ごみ処理施設建設工事に対する都の補助金、1億2,002万6千円。
- ⑤財産収入
基金の運用利子収入、74万1千円。
- ⑥繰入金
基金から一般会計への繰入金、2,325万2千円。
- ⑦繰越金
平成7年度からの繰越金、1億3,580万円。
- ⑧諸収入
歳計現金の運用利子、資源回収物の売却及び発電電力の売却その他の収入、8,983万7千円。
- ⑨組合債
ごみ処理施設建設工事の借入金、15億110万円。この借入金は、国の年金積立金の還元融資を受ける予定です。

- ①議会費
組合議会の運営経費、809万3千円。
- ②総務費
組合内の共通した事務の経費、2億5,278万9千円。
- ③ごみ処理費
ごみ処理施設第一・第二工場、粗大ごみ処理施設、リサイクルセンターの運転など、施設を維持管理する経費及びごみ処理施設建設工事費等、35億5,013万7千円。
- ④し尿処理費
し尿処理施設の運転など、施設を維持管理する経費、1億6,047万2千円。
- ⑤環境対策費
温水プール施設など、体育施設を維持管理する経費及びごみ・し尿等の処理施設に関する分析などの経費、1億9,063万6千円。
- ⑥公債費
ごみ・し尿の処理施設及び体育施設を建設した際の借入金の返済経費、3億4,485万6千円。
- ⑦予備費
施設に関する臨時的な費用及びその他の費用、1億494万1千円。

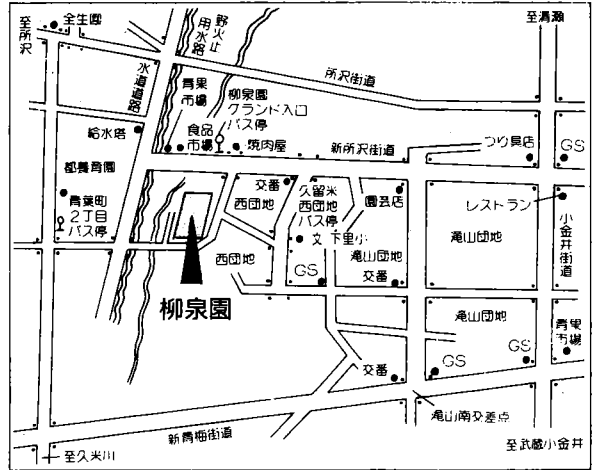
歳出予算



enjoy sports
エンジョイスポーツ
体育施設

柳泉園の体育施設は、四市にお住まい、お勤めの方なら一本でどなたでも利用できます。野球場、テニスコート、温水プール、スポーツサウナ、トレーニング室など魅力いっぱいのスポーツ施設があります。さわやかなリフレッシュ・タイムを、柳泉園でどうぞ。

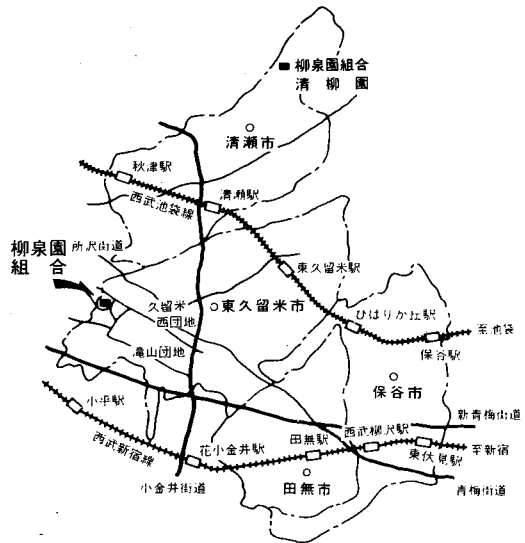
☎0424-73-3121
へ申し込んで下さい。



Message
組合からのお願い

- ①ごみは、できるだけ出さないように心がけて下さい。ごみを処理するには大変お金がかかるのです。当組合だけでも1トン処理するのに10,000円以上かかり、処理の他に議会費、総務費、環境対策費、その他公害対策費用等を加えると1トン処理するのに16,000円以上かかってしまいます。ごみが少なくなるとこの費用を他の行政費用に回すことができます。
- ②ごみを出す時は、「燃やすごみ」「燃やさないごみ」に必ず分けて出すようにして下さい。このことを守っていただかないと施設を痛めたり、公害発生の要因となるため、この防止にも費用がかかります。
- ③スプレー缶・簡易ガスボンベ等は、内容物を十分出し切ったうえ、穴をあけてから不燃ごみに出してください。なお穴をあける際には、屋外など火気等危険のない場所で行い、顔など身体にかからないように注意して下さい。また、関係四市では有害ごみの分別回収をステーション収集方式、あるいは電気店等の拠点収集方式で市民の皆様をお願いしています。これらの点についてより一層のご協力をお願いいたします。

ここが柳泉園です。



管内人口等	(平成8年調査)
世帯数	142,686世帯
	(前年比1.8%(増))
人口	366,963人
	(前年比0.1%(増))